

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2018年7月22日号

## 国の悪政は、翼賛・反住民自治体によっても支えられている 政府と自治体が一体となって多量に、社会保障切り捨てへ

### ＝ 京都市が国への予算要望を提出 ＝

このほど、京都市が「来年度の国の施策・予算に関する提案・要望」を国に出しました。

もちろん市民の要望も含まれていますが、一方、ムダづかいと環境破壊の大型事業も挙げられています。「堀川通の機能強化（バイパス整備等）」（※1）、「リニア中央新幹線の京都駅ルートの実現」（※2）などが「提案」されています。「国の

理解と協力が必要な提案・要望をまとめた」とのことですが、国の、格差拡大の政治に対する批判的視点は皆無で、国の「理解と協力」を求めるだけの代物です。大型事業促進要望など、むしろ国の悪政を自治体が応援しているとも言えるでしょう。

## 他都市の労働・商工行政から学ぶ

先日、党市議団として他都市調査に行ってきました。横浜市の労働経済行政の一端を紹介します。

各種労働データや関連資料の展示・閲覧・調査の場の場所があり（写真左）、また労働基準法解説の本なども発行。また、区役所の職員が、区内商店街応援の仕事にも従事。いずれも、京都でも大いに参考にされると思われます。

いる。市にももっとよこせ」という要望項目です（※3）。「生活保護における過剰な医療を制限する仕組みの構築を」などと、露骨に生活困窮者から医療を受ける権利を奪おうとするかのような項目も掲げています（※4）。

## 屋根の設置が実現 大石橋バス停に

住民の皆さんの長年の運動が実り、このほど、「大石橋」バス停（東行き方面）に屋根の設置が実現しました。



## 最近の 相談から



◎ 国保料が高すぎて払えない。資格証明書（窓口で10割負担）をもらう。井上議員と区役所へ。とりあえず短期証に切り替えてもらう。  
 近日、減免申請の予定。  
 ◎ 夫Aが死亡。妻Bと、夫の前妻との子C（成人）が残されたがBCで暮らすのは気まずい。  
 ↓ 市営住宅の承継権はどちらにもありません。一緒に暮らすか、出るとすればどちらでも。

（※1）堀川通～油小路通の東海道本線ガード付近の「渋滞」を口実に、堀川～油小路通りの五条・十条間の地下に道路を掘る計画。  
 （※2）東京～名古屋～大阪を結ぶ、超高速列車計画で、自然破壊、莫大な費用、膨大な電力消費、一層の東京への一極集中など、問題だらけの代物。計画では名古屋・大阪間は、京都市は通らない予定で、市長が焦っている。  
 （※3）以下は市の資料より

「「国・地方の法人に係わる税率の内訳」

合計30.77%	
国・京都府 28.09%	京都市 2.68%

（全体の91%） （全体の9%）

法人が納める税のうち、本市に納められる割合は、わずか9%

→ 配分割合の拡充強化が必要 !!

しかし、

法人が納める国税・府税・市税の合計が、30.77%とされていますが、様々な減税措置により、大企業は、実際は10%前後しか払っていません（「不公平税制をただす会」の計算）。この現状を曖昧にしたままでは、問題の本質に迫ることはできません。

（※4）診察・治療は医師が医師の判断で行うものです。健康診断も保障すべきです。

